

6. 北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
家計 動向 関連	良く なっている	一般小売店〔精肉〕（経営者）	来客数の動き	・食肉の消費はほぼ一昨年並みに回復している。	
		家電量販店（経営者）	それ以外	・例年より早い寒波の到来により、電気ストーブ、セラミックヒーター、電気毛布などの電気暖房器具にいち早い動きがあった。また、大型テレビ、プラズマディスプレイ、液晶ディスプレイなどは今まで以上に好調に推移している。	
	変わらない		タクシー運転手	お客様の様子	・11月は悪天候が続き、タクシーの利用が予想以上に多かったため、営業回数、運賃収入ともに良かった。
		一般小売店〔鮮魚〕（店長）	単価の動き	・買上点数は横ばいもしくはやや増加しているが、客が競合他社のチラシと見比べて買い回りをしているため、一品単価、客単価が前年に比べて低下している。	
		百貨店（売場主任）	単価の動き	・11月初旬から気温が下がり、コートを中心に動いている。特にカジュアルの非ウールコートの動きが活発であるが、単価の高いカシミアやウールのコートは昨年よりやや不振である。	
		スーパー（店長）	販売量の動き	・11月初旬は急激な気温の低下により、衣料やこたつ布団、毛布など冬物を中心に売れたが、後半に気温が上がったため、通常のパターンに戻っている。 ・一品単価は下がり気味であるが、特に衣料品の買上点数は前年の8割強にまで落ちている。食品は点数の伸びが前年並みに戻っているが、今一つである。	
		スーパー（店長）	単価の動き	・来店客はポイントセールや安い特売の時に一気に増加するが、客単価に変化はなく、相変わらず厳しい状況が続いている。	
		乗用車販売店（総務担当）	販売量の動き	・カーナビなどはやや売れているものの、他のオプション商品の売行きがかなり落ちているため、結果的に販売単価が下がり気味になっている。	
		住関連専門店（店長）	来客数の動き	・来客数は若干減少しており、特に土、日曜日は大型店に客を奪われているせいか、減少が目立っている。ただ、中旬からはボーナス需要により、高額品がある程度動き始めたため売上を確保している。	
		その他専門店〔酒〕（経営者）	来客数の動き	・不思議なことに、安い酒が売れず、高価な大吟醸や高くても珍しい酒が売れている。	
高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・前年に比べて昼の来客数と売上は増加しているが、夜の来客数と単価が減少しているため、差引きではマイナスとなっている。			
やや悪く なっている	一般レストラン（店長）	お客様の様子	・全体的には冷え込んでいるが、それほど変わっていない。常連客など客の顔ぶれにも変化はない。		
	都市型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・観光客は好調に推移し、3か月前に比べ客室稼働率が3ポイント上昇した宿泊部門と一般宴会が前年を上回った。また、前月に引き続き婚礼件数の減少と人数の縮小に伴う売上高の減少に加え、2次会利用が減少したレストラン部門は減収となり、全体では前年を下回った。		
	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・カメラ付携帯電話への買換え需要はおう盛であるが、新規契約数の増加は落ち込んでいる。客の低価格志向は依然として続いている。		
	商店街（代表者）	お客様の様子	・12月に入るとホテルなどのディナーショーが開催されるが、チケットが完売しないため、取引業者に対して強制的な割当てが行われている。		
	商店街（代表者）	来客数の動き	・来客数が少なく、高い商品が売れない。		
	百貨店（営業担当）	単価の動き	・買上客数は前年比で105%と伸びているが、売上高は98%である。客はバーゲン品など単価の安い物を購入する傾向が強いが、定価品についての動きは鈍い。		
	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・例年11月は、冬物のファッションに敏感な人が衣料や雑貨の流行の先取りをしたり、また年末年始の旅行関連用品を購入する動きがみられるが、今年の店頭は両方とも活発でなく、例年の7～8割程度の動きにとどまっている。		
	スーパー（店長）	単価の動き	・来客数はプロ野球の優勝記念セールの影響などで増加傾向にあるが、単価は依然低下傾向が続いている。		

	スーパー（総務担当）	単価の動き	・11月は前半から天候が悪かったことや郊外の大型店に客が流れたことなどにより、商店街の店舗は全く振るわなかった。	
	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・コンビニの中に実験店舗として手作りのおにぎりコーナーをオープンさせたが、店全体の買上点数は増えているものの、来客数の増加はみられない。	
	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・平日の商店街の来客数が激減している。	
	家電量販店（店長）	来客数の動き	・競合店の売場増床により、来客数の減少が止まらない。	
	乗用車販売店（経理担当）	販売量の動き	・今月の県内市場は落ち込みの大きかった前年とほぼ同程度で、盛り上がっていない。なかでも、新型車やヒット商品を持たないディーラーは販売力が大幅に低下し、格差が目立っている。	
	乗用車販売店（経理担当）	販売量の動き	・9月から11月にかけて新型のRV車が売れたが、主力の高級セダンの販売がかなり落ちている。	
	その他専門店【医薬品】（営業担当）	競争相手の様子	・ポイントセールスの2倍は当たり前で、5倍セールも登場している。また、原価を大きく割るティッシュペーパーやトイレットペーパーの販売など、各社の競争が激化している。	
	都市型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・オフシーズンとはいえ、宿泊単価が大幅に低下しているが、これを稼働率の上昇でカバーしている。レストラン、宴会部門の単価は年末を迎え、従来に比べて落ち着きをみせている。	
	タクシー運転手	お客様の様子	・繁華街や中心部を歩いている人は少なく、バスや電車の帰宅が目立つ。駅では家族の車による出迎えが深夜までであるため、タクシーの利用は少ない。	
	テーマパーク（経営者）	お客様の様子	・天候不順による来客数の減少により、客単価は非常に落ち込んでいる。団体客も、必要としない物は買わず、財布のひもは固い。	
	パチンコ店（店員）	お客様の様子	・来客数の店内の滞在時間が短くなった。	
	住宅販売会社（従業員）	競争相手の様子	・再三にわたる相見積の末に、競争相手による採算を全く度外視した値引きが行われている。	
悪く なっている	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・客の来店頻度が非常に悪く、客単価も低下している。また、商店街の客の流れが非常に少ない。	
	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・客に対しキャンペーンや在庫促進策を細かく打ち出し、更に動員攻勢をかけても、客の反応は全くない。	
	一般レストラン（店長）	来客数の動き	・いつもは昼と夜のいずれかが忙しいが、今月は昼夜ともに空きテーブルが目立ち、売上が減少している。	
	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・企業の業績悪化の影響を受けて、団体旅行の売上金額、件数ともに前年比25%減少している。	
	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・前年同月との比較では、団体客を中心に客の動きが非常に鈍い。寒さの到来が昨年より早かったため、団体の件数、来客数はともに15%程度減少している。	
	競輪場（職員）	来客数の動き	・今月は天候不順と場外競輪回数増加などにより、入場者数、売上ともに減少している。	
企業 動向 関連	良く なっている	-	-	
	やや良く なっている	プラスチック製品製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・東京都心のマンション関連は以前から好調であるが、最近は更に良くなっている。
	変わらない	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量は変化していないが、国内では大阪地区の受注状況に動きが出始めた。また、先般東京で行われた工作機械見本市には従来型以外に全く新しい機械をサンプル出展したが、このような新分野の機械には来場者から極めて高い関心が寄せられた。
		電気機械器具製造業（経理担当）	取引先の様子	・携帯電話のユーザーに個人差がかなりあるため、新製品を出している会社もあれば、全く新製品を出さずに受注が落ちている会社もある。
		輸送業（配車担当）	取引先の様子	・1か月を通じてギフト関係の荷動きがあまりなく、師走を前にした11月末も集中的な忙しさにはならなかった。
		輸送業（配車担当）	受注価格や販売価格の動き	・受注量は前年並みであるが、受注価格が一層低下している。
		新聞販売店【広告】（従業員）	受注量や販売量の動き	・折込チラシの中で不動産関連が極端に減少している。
司法書士	取引先の様子	・取引先の廃業や会社の解散が多くなっている。		

	やや悪くなっている	食料品製造業（企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・特売価格の時に販売数量は大きく伸びるが、定番価格の時にはぴたっと止まる。また、100円を下回る価格にした際の伸び率は顕著で、価格は安い物へと動いている。
		建設業（経営者）	競争相手の様子	・先日、ある町で3件の下水道工事の発注があったが、すべて「低入札価格調査」で保留になった。競争は更に激化し、採算を度外視したダンピングが行われている。
		金融業（融資担当）	取引先の様子	・適当な運用方法がない中で、余裕資金がある企業は借入金を返済する傾向が続いている。
	悪くなっている	建設業（総務担当）	取引先の様子	・実害はなかったものの、共同事業体を組んでいる会社の破産申立てや、工事代金の支払い条件変更の申出など、波乱が生じている。
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求職者数の動き	・求人広告の件数、売上ともに3か月前より増加し、また前年の水準もクリアしている。
	変わらない	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・特定メーカーの季節求人などにより、ここ数か月の求人広告件数は前年実績を上回っている。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・求人倍率は改善を示しているが、最近の来所者は情報収集のみで、求職の申込をしないケースが相当あるため、職業安定所の込み具合からみて、実態的には改善されているとは思えない。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・以前に比べて求人数が半減している。スタッフはある程度確保しているが、受注が取れないため苦戦している。
		求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・定期的な年末求人が減少したため、本来前月より増加すべき総体の求人件数は横ばいとどまっている。
		学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・求人件数は前年同月比38%減少している。求人の主体は大型店舗出店による小売業であるが、内定率は全く向上しない。
悪くなっている	-	-	-	